



湖北

長浜市は6月から子どもの誕生や新婚カップルの門出を



長浜

門出祝うオリジナル証明書
長浜市が婚姻と出生時に

祝うためオリジナルの「出生届・婚姻届受理証明書」Ⅱ写真Ⅱの交付を始めた。豊臣秀吉の馬印「ひょうたん」や長浜城、市花の「梅」をデザインに取り入れ、温かみと華やかさを兼ね備えた仕上げになっている。

戸籍の届け出が受理されたことを証明する公的なもので、子どもの誕生記念や披露宴のウエルカムボードとしても利用できる。交付手数料は、出生届受理証明書(A4上質紙)1通350円、婚姻届受理証明書(同)同、婚姻届特別受理証明書(B4賞状タイプ)1通1400円となっている。交付は、市役所市民課、くらし窓口課、各市民サービス窓口で。また、毎年作製している「婚姻届・出生届 届書の書き方・手続き早わかりBOOK」の表紙を夫婦と親子の写真にリニューアルし、幸せを感じるデザインとした。

県が長浜に人材戦略サテライト
北部地域の中小企業向け

長浜



県プロフェッショナル人材戦略拠点の北部サテライトに掲げられた看板

県プロフェッショナル人材戦略拠点は5月21日、長浜市高田町の長浜ビジネスサポート協議会内に北部サテライトを開設した。県北部地域(長浜、高島、米原3市)の中小企業の経営力向上のために、各企業の課題に対応できる専門人材を都市圏から確保する支援を行う。2015年度に大津市打出浜に同拠点が開設され、今年3月末までに支援相談が5163件(全国2位)あった。そのうち人材マッチングが1334件(同5位)成約するなど、高い実績を上げてきた。ただ、地理的要因や時間的制約があり、北部の中小企業には拠点が十分に利用されていないという課題があった。今年度は北部サテライトに相談員1人を計100日間配置し、来年度から常駐を目指す。同拠点の黒川幹生マネジャーは「もっと多くの企業にこの事業を利用してもらいたい」と話した。

【長浜通信部・長谷川隆広】

湖東

彦根

「多自然川づくり」の入門書
県立大大学院と県流域政策局

県立大大学院(彦根市八坂町)と県流域政策局の共同研究で、ブックレット「はじめての魚の居場所づくり」(14ページ)が完成した。県が進める「多自然川づくり」の入門書で、同大学環境科学部1年生のフィールドワークの教材にする。市民にも幅広く活用してもらおうと県のホームページにも画像データを載せている。

まずさまざまな河川用語を解説。「流れが速く浅いところを瀬」と定義している。また川沿いの止水域は洪水時に遊泳魚の避難場所になり、多様な在来生物が繁殖するとしている。速い流れには紡錘(ぼうすい)形の体型のホンモロコやアユなどが住むと説明。さらに高島市の安曇川岸には江戸中期から水害を防ぐ竹林が整備され、その竹材



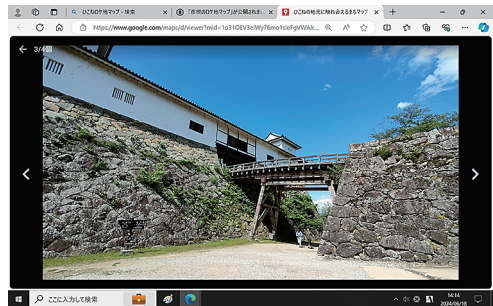
県立大大学院と県流域政策局が作ったブックレット「はじめての魚の居場所づくり」の表紙

で地場産業の扇の骨が作られたと紹介している。【彦根通信部・伊藤信司】

「映画の街」へロケ地マップ
彦根市シティプロモーション戦略委

彦根

市民有志で組織する彦根市シティプロモーション戦略推進委員会は「ひこねロケ地マップ」を作成しウェブサイトで公開している。彦根市は①琵琶湖などの豊かな自然②彦根城を中心とした歴史資源③都市部とのアクセスなどを売り物に、映画などの撮影誘致に力を入れている。ロケ地を巡って地元の魅力を発見してもらおうと企画した。



彦根市フィルムコミッション室は23年度合計で映画13件、テレビ・CMなど111件を誘致している。【彦根通信部・伊藤信司】

例えば「碁盤斬り」(2024年)では浪人役の草薙剛さんが、彦根藩を追い回した場面を撮影している。

市民有志で組織する彦根市シティプロモーション戦略推進委員会は「ひこねロケ地マップ」を作成しウェブサイトで公開している。彦根市は①琵琶湖などの豊かな自然②彦根城を中心とした歴史資源③都市部とのアクセスなどを売り物に、映画などの撮影誘致に力を入れている。ロケ地を巡って地元の魅力を発見してもらおうと企画した。例えば「碁盤斬り」(2024年)では浪人役の草薙剛さんが、彦根藩を追い回した場面を撮影している。【彦根通信部・伊藤信司】